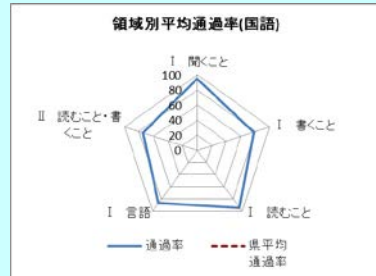
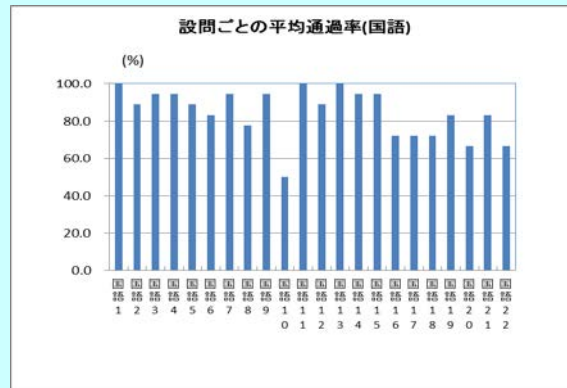


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 84.6%, 県 74.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向
 - ・タイプⅠ (86.7%) タイプⅡ (75.0%) であった。この結果から、基礎的・基本的な内容については、定着が図られていると考えられる。
- 昨年度の課題への取組の成果
 - ・課題としては漢字の読み書きの定着と、情報の取り出しが挙げられる。昨年度の課題を引き続き取り組み、長い文章を読むこと、読みながら整理して考えることに取り組む。

重点課題

- 【課題1】
第3学年, 第1学学年の漢字の読み「ましようめん」 (通過率 50%)
・漢字の読み替えに課題がある。熟語としての読みが定着していない。
- 【課題2】
情報の取り出し, 情報を関係付けた記述 (通過率 66.7%)
・取り出した情報を関連付けて記述することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

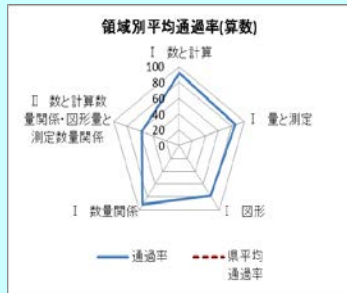
- 【課題1】
 - ・板書やプリントには既習の漢字を必ず使う。また、児童にも書いたり読んだり確実にさせる。
 - ・漢字のドリル学習では、ただ漢字を書くだけでなく、熟語にして練習をさせる。また、一言日記などにおいて、意識して漢字を使わせるようにする。
- 【課題2】
 - ・自分が書いた文章を読みなおさせたり、条件に合っている部分にはチェックを入れたりさせながら、問われている文章になっているかどうかを確認させる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-------------------|----|---------------|-------------------|
| 学年・方法 | | | | 4年生 H27「基礎・基本」 | | 4年生 単元末テスト | 4年生 H27「基礎・基本」 |
| 目標値 | | | | 70.0% | | 75.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

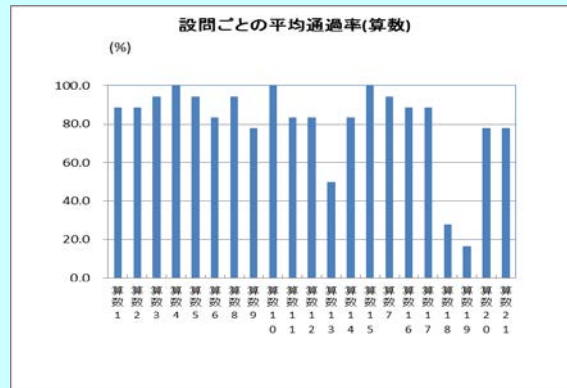
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|------------------|----|----|---------------|
| 学年・方法 | | | | 5年生 H27「全国学力」 | | | 5年生 単元末テスト |
| 目標値 | | | | 70.0% | | | 75.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 80.7%, 県 71.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向
 - ・タイプⅠ (87.8%) タイプⅡ (57.8%) であった。この結果から、基礎的・基本的な内容については、定着が図られていると考えられる。
- 昨年度の課題への取組の成果
 - ・課題としてはグラフの読み取りと複数の情報からの取り出しが挙げられる。昨年度取り組んだ図形領域は一定の成果を上げている。授業で視覚に訴える教具の工夫をしてきたことが要因であるとする。

重点課題

【課題1】

タイプⅡ「図形量と測定数量関係」…条件を満たす時刻 (通過率 16.7%)
 ・問題文から読み取る条件が2つ以上あり、自分に必要な情報の取り出しに課題がある。

【課題2】

タイプⅡ「数と計算数量関係」
 …折れ線グラフと棒グラフの関連付け(通過率 27.8%)
 ・折れ線グラフと棒グラフの意味と関連性に着目した情報の取り出しに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・問題文に印を付けながら、必要な情報を取り出して問題を解くように、日々の授業で指導する。
- ・自力解決の時間に、筋道立てて自分の考えを整理できるように、自分の思考の足跡を残すことや、消去法での考えも取り入れていくことなど、ノート指導をする。

【課題2】

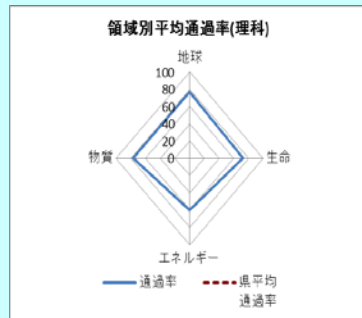
- ・折れ前グラフや棒グラフのよさが体感できるような場面を、算数科だけでなく他教科等にも積極的に取り入れる。
- ・授業で、グラフの読み取りから分かる事象を語らせる場面を仕組み、折れ線グラフ・棒グラフへの親しみや面白さを感じさせる。また、生活場面でも積極的にグラフを使ってまとめたり発表したりする場面を設定する。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-------------------|-----|-----|-------------------|----|-----------------|
| 学年・方法 | | 4年生 3年「学年末テスト」 | | | 4年生 H27「基礎・基本」 | | 4年生 「学年末テスト」 |
| 目標値 | | 85% | | | 70% | | 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

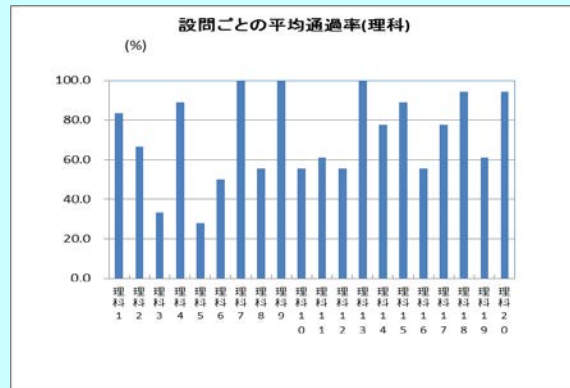
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|------------------|----|----|---------------|
| 学年・方法 | | | | 5年生 H27「全国学力」 | | | 5年生 単元末テスト |
| 目標値 | | | | 70% | | | 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.4%, 県 65.3%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向
 - ・タイプⅠ (73.0%) タイプⅡ (76.6%) であった。この結果から、基礎的・基本的な内容については、定着が図られていると考えられる。
- 今年度の課題
 - ・課題としては、並列つなぎの回路のつなぎ方・光電池の特徴が挙げられる。実験と日常生活を結び合わせることや、教員が意識してつなげることが大事である。また、授業の振り返りで、学びの日常化への誘いを学校全体で定着させたい。

重点課題

【課題1】

タイプⅠ「エネルギー」…直列つなぎの回路と回路のつなぎ方 (通過率 33.3%)
 …光電池の特徴 (通過率 27.8%)
 ・自然事象についての知識・理解に止まっており、実験と実生活をつなげて考えることができていない児童が多い。

【課題2】

タイプⅡ「物質」…空気の温まり方と生活との関連 (通過率 55.6%)
 ・学習や実験で得た科学的思考・判断を、生活の各場面に当てはめて考えることができていない児童がいる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・課題発見型の授業スタイルを定着させ、実験の目的・方法・結果の求め方・分析を、児童にとって意味あるものにする。
- ・光電池の特徴を調べる実験で、太陽の光だけでなく、室内の電灯にも反応することを、電卓のソーラーシステムなど身近な実生活とつなげて学習させる。

【課題2】

- ・空気の温まり方を実際に温度計で測ってみたり動いてみて気温を体感したりさせる。そして、授業のまとめや振り返りにおいて、学習と生活を関連付けて考えたことを書く場面を設定する。

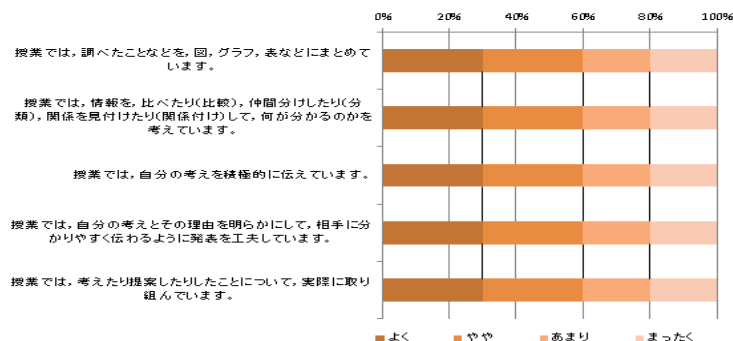
| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|-------------------|-------------|--------------|
| 学年・方法 | | | | | 4年生 H27「基礎・基本」 | 4年 単元テスト | 4年 学年末テスト |
| 目標値 | | | | | 70% | 75% | 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|--------------|---------------------|----|--------------|
| 学年・方法 | | | | 4年 単元末テスト | 4・5年生 H27「基礎・基本」 | | 4年 学年末テスト |
| 目標値 | | | | 70% | 70%・80% | | 75% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

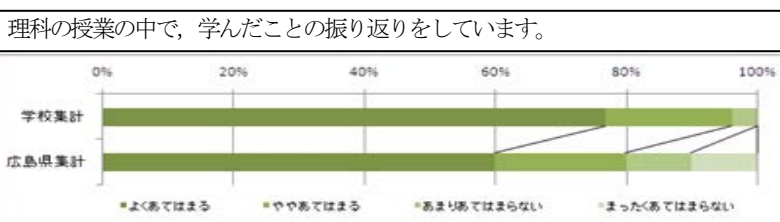
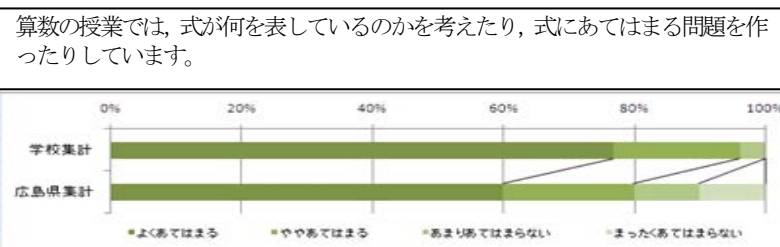
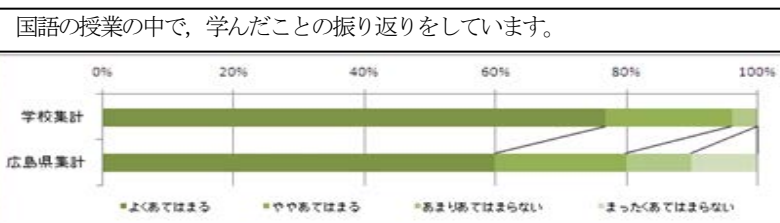
質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

「課題発見・解決学習」(2)



(2) 教科



| 児童の回答についての課題 (現状値) | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|--|--|--------|--------------|---------|------|------|---------|
| (15) 授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。 よく当てはまる・・・5.6% やや当てはまる・・・38.9% あまり・・・38.9% まったく・・・16.7% <肯定的評価(44.4%)> | 各教科・総合的な学習の時間等で行っている問題解決学習のプロセスを、今一度児童と共に確認する。 また、資料集めや取材で児童に任せるところを計画的に決め、意図的に計画的に、児童に体験させる。 | 4 5 | 肯定的評価 75% | 児童アンケート | 1月 | | |
| 児童の回答についての課題 (現状値) | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
| (5) 国語の中で、学んだことの振り返りをしています。 よく当てはまる・・・16.7% やや当てはまる・・・38.9% あまり・・・33.3% まったく・・・11.1% <肯定的評価(55.6%)> | 授業のまとめ・振り返りは行っているが、児童の気持ちの中に、「学んだことの振り返り」という意識が薄い。本時の学びを次時につなげるために使えることや、学んで良かったと思える評価を教師がする。 | 4 5 | 肯定的評価 75% | 児童アンケート | 1月 | | |
| (23) 算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。 よく当てはまる・・・22.2% やや当てはまる・・・27.8% あまり・・・44.4% まったく・・・5.6% <肯定的評価(50.0%)> | 問題作りを授業に取り込み、学んだことを活用する場面を積極的に設定する。 また、単元のまとめとして、児童の作った問題を問題集にして家庭学習にも活用する。 | 4 5 | 肯定的評価 75% | 児童アンケート | 1月 | | |
| (28) 理科の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。 よく当てはまる・・・11.1% やや当てはまる・・・33.3% あまり・・・38.9% まったく・・・16.7% <肯定的評価(44.4%)> | 理科の授業スタイルを、研究教科の算数に準じておこない、学びの実感と次時へのつながりを教師も児童も意識する。 | 4 5 | 肯定的評価 75% | 児童アンケート | 1月 | | |